

裾野カンツリー倶楽部 運営協議委員会議事録

開催日時 : 2025年12月20日(土) 午後2時15分開会

開催場所 : 裾野カンツリー倶楽部 カフェテリア

出席者

委員長(議長) : 山田 晃久

副委員長 : 井山 利一(委任状出席)、山本 吉幸

委員 : 岩永 百合子、加藤 伸一、澤上 敬子、高槻 啓太、
田中 勤(委任状出席)、浜村 悟(委任状出席)、
早川 聡彦、福田 英夫

(50音順・敬称略)

倶楽部及び会社	: 裾野カンツリー倶楽部	総支配人	藤原 峰之
	〃	グリーンキーパー	片岡 義明
	〃	キャディマスター	杉山 美恵
	〃	所属プロ	太田 慶治
	〃	書記	九島 宏樹

藤原総支配人より、本日の出席者は委員11名中、出席8名、委任状出席3名となっており、会則の細則第8条4項に定める定足数を満たし、本運営協議委員会が成立する旨が告げられた。裾野カンツリー倶楽部カフェテリアにて、山田委員長より開会の挨拶をいただいた後、運営協議委員会の議事が開始された。

1. 倶楽部からの報告

- 2025年11月15日(土)開催の定例理事会報告 <藤原総支配人>
- ・2025年度上半期の経営状況が報告され、来場者数は減少したものの、顧客単価の上昇により売上は約1,000万円増収し、ゆとりある運営が実現できていると評価できる。来場者数は前年度比で約800人減少したが、一昨年度比では約500人増加している。メンバー比率は過去3年間で若干の減少はあるものの、ほぼ横ばいで推移している。
- ・会員数は、正会員557名、平日会員117名、家族会員3名、終身正会員13名、終身平日会員1名の合計677名(終身会員を除く)である。会員数は微減しているものの、退会者の会員権を再販することで新規会員の獲得を進めている。
- ・2024年度の年会費未納者はおらず、除名処分の決議もなかった。2025年度は現在4名の未納者があり、来春の資格停止処分を回避すべく解消に努めている。
- ・No.9グリーンでのアプローチ練習を禁止するため、看板を設置するなど注意喚起を強化

した。看板設置後も練習を行う利用者が見受けられるため、今後も継続して注意喚起を行っていく方針である。

- ・ファンケルクラシックについて、池森名誉理事より報告があった。「LADY GO CUP」に参加した女子選手たちが多くのギャラリーを集めており、こうした取り組みがギャラリー数の増加につながり、大変盛況であった。
- ・その他の報告事項として、長年理事を務めた藤岡理事の退任が伝えられた。

●コース状況報告 (2025年6月～2025年12月) <片岡グリーンキーパー>

- ・10月23日に初冠雪があり、富士山頂は昨年度より2週間ほど早い降雪となった。
- ・6月14・15日の豪雨によってNo.18ティーの右前が崩落した。復旧をする際に、併せて管理道路の迂回路も敷設した。
- ・7月15日から25日間にわたり高温かつ無降雨が続き、散水作業や高温による機械の故障対応に追われた。
- ・8月11日の豪雨により倒木が発生し、獣進入防止フェンスが破損した。
- ・9月11日の豪雨と落雷により、散水設備が故障し、暗渠排水の砕石が噴き出す被害があった。
- ・No.9グリーンが拡大しスプリンクラーが届かなくなったため、元の大きさに戻した。芝が不足していたため、No.3レギュラーティーの芝を転用して張り替えた。
- ・No.16アプローチの芝を張り替えた。
- ・No.4フロントティーを70ヤード付近に増設した。富士山ティー部分が著しく乾燥していたので掘削したところ、右手前のメタセコイアの根が多数確認されたため除去した。
- ・No.12富士山ティー右側を削り、シルバーティーを増設した。
- ・No.6特設ティー付近に暗渠排水を再施工し、ボールが集まりやすい箇所掘削土を盛土してマウンドを設けた。
- ・No.3フェアウェイに侵入したメタセコイアの横根を除去し、砂を充填した。
- ・No.17グリーン左奥および右奥のバンカーをティーから視認しやすいように改修した。バンカー自体は小型化したが、視覚的なプレッシャーを与える設計とした。暗渠排水も再施工し、水はけと整備性を向上させた。
- ・No.18右奥バンカーの右手前を拡張し、暗渠排水とシートを張り直した。また、暗渠に詰まった砂を洗浄した。
- ・ボールが集まりやすい樹木下の裸地やカート路付近の芝を張り替えた。
- ・今年はモミジを150本程植栽した。
- ・No.14カート路下で破裂した給水管を復旧した。
- ・No.18グリーン奥の階段に使用していた枕木が朽ち、景観を損ねていたため撤去した。
- ・門松用の藁を確保するため、進入路付近の空地に田んぼを造成した。今後はこの藁を使用して門松を作成する予定である。

- ・ファンケルクラシック大会ではヘビーラフ仕様とすることができた。今年からフラッグの図柄を白青に変更した。進入路の枝が道路にはみ出していたため、バスの通行に配慮して伐採を実施した。大会自体はプレーオフが3回に及んだため、カップ切りを行った。女子プロ主催の「LADY GO CUP」も同時開催され、大会は大いに盛り上がった。

【質疑応答】

- ・ティーグラウンドの階段が撤去されていたが、どのような目的があるか。
＜山本副委員長＞
→階段の使用頻度が低く、階段周りの芝が痛んでいる状況である。
＜片岡グリーンキーパー＞
→No.7 バックティーなどは階段がなくなって困っている。＜山本副委員長＞
→階段があると整備に手間やコストが掛かってしまう。必要性があるところは残して、使用頻度が低いところを撤去していくが、今後多く撤去するつもりはない。
＜片岡グリーンキーパー＞

2. 各分科会からの報告

＜山田委員長（分科会長）＞

- ・第39回ウェルカムコンペを11月23日（日）に開催した。対象となる新入会員43名のうち10名が参加し、理事・運営協議委員4名、推薦人6名を加えて、計5組での開催となった。5組での開催となり、倶楽部内の交流がより活発になってきている印象を受けた。
→ウェルカムコンペでの交流を今後につなげていくために、ウェルカムコンペに参加した新入会員を対象として、その後何回かコンペを開催することを検討していく。

●フェロシップ分科会

＜山田委員長（分科会長）＞

- ・以前よりゴルフ場に名物料理の考案をお願いしており、パエリアがその候補として形になりつつあると感じている。委員の皆様も、ぜひコンペなどで活用してほしい。
→富士山すその花火まつりにてパエリアを出店し、一般の方にもアピールになる取り組みをしている。＜藤原総支配人＞

●競技・キャディ分科会

＜山本副委員長（分科会長）＞

- ・今年から競技ごとの担当委員をつけなくなり、太田プロにご協力いただき、倶楽部競技を開催している。

●2026 年度競技日程案及び競技規則改定案について <太田プロ>

- ・シニア選手権のグランドシニアの部は参加者が少ないので、来年度以降は実施しない方向でどうか。

→来年度以降は実施しない。

- ・今年度のスクランブル杯の参加が1組であったため、競技不成立となった。前後の週でも競技が開催されるので、来年度以降はどのような形にするか。

→通常の月例杯でも良いのではないか。<加藤委員>

→チャンピオンカーニバルの日程をもう少し後にするのはどうか。<藤原総支配人>

→年末に近づくと予定があって参加できない方が増えるので、第2週目にしたという経緯がある。<杉山キャディマスター>

→チャンピオンカーニバルは年度でのチャンピオンを決める大会として位置づけ、3月開催にするのはどうか。<藤原総支配人>

→チャンピオンカーニバルについては、委員の賛同が得られたので、2026年度は3月に約1年3カ月分のチャンピオンを集めて開催し、2027年度以降は年度内のチャンピオンを集めて開催する方向で決定した。

→スクランブル杯については、参加者が少ないことから通常の月例杯を行うこととする。

- ・月例杯の参加者を増やすために、ティーマークを変えたり、競技の方法を変更したりするなどの施策を行っても良いのではないか。

→申込用紙を1人でも書きやすい様式にするのはどうか。<山本副委員長>

→そもそも競技志向の方があまり多くいない。<福田委員>

→青駿会には、一人でも参加する方が増えてきている。<岩永委員>

→到着順でプレーをされる方はいるか。<加藤委員>

14, 5年前は到着順の会があったので、それによって横のつながりが増えた。

<加藤委員>

→到着順は割増料金がかからないので、プレーがしやすい。<杉山キャディマスター>

→当日の参加であればキャンセルを気にする必要がないので、参加しやすいのではないか。<加藤委員>

→現在も予約は受け付けているが、形骸化している部分がある。日曜日は年間でも満員でプレーを断るような日はほとんどなく、貸切営業などを除けば、通常の運用で入れないという状況は稀である。まだ到着順の仕組みはあるので、是非活用してほしい。

<藤原総支配人>

→Bクラスについては、男性は富士山ティーであれば参加率が高くなるか。

<藤原総支配人>

→B クラスは4月から偶数月で富士山ティーを使用する。2026年度はそのような形で開催し、参加者数についてデータを取り、今後に生かしていく。

→平日月例杯のティーについては、男性は富士山ティーで統一する。

→それに伴って、競技規則を変更しておく。＜太田プロ＞

3. その他

- ・メンバーからカレーライスを定番メニューに加えてほしいという強い要望が継続的に出ている。特に「他に食べたいものがない時に、最後に選びたい」という意見が多いようである。＜加藤委員＞

次回開催日は決定次第連絡する。

以上で本日の議題全ての審議及び決議が終了となり、午後4時00分に閉会となった。

以上、議事の経過の要領及びその結果等を記載し、委員長記名押印する。

2025年12月29日

裾野カンツリー倶楽部 運営協議委員会

議長 運営協議委員長

山 田 晃 久

